

問1 てこのつり合いのきまりによると、てこがつり合っているとき、「左のおもりの重さ×左のうでの支点からのきより」の値は、右側のどのような計算から求められる値と等しくなりますか。

1. 「右のおもりの重さ×右のうでの支点からのきより」 2. 「右のおもりの重さ－右のうでの支点からのきより」 3. 「右のおもりの重さ÷右のうでの支点からのきより」 4. 「右のおもりの重さ＋右のうでの支点からのきより」

問2 てこを利用した道具である「はさみ」を使うとき、指で握^{にぎ}って力を加える部分は、てこの何にあたりますか。

1. 支点 2. 力点 3. 作用点 4. 作用線

問3 支点と力点の間に作用点があるてこの仕組みを使った道具はどれですか。

1. ピンセット 2. はさみ 3. せんぬき 4. トング

問4 てこを使って重いものをできるだけ小さな力で楽に持ち上げたいとき、支点と作用点の位置を変えないとすると、力点の位置をどのようにすればよいですか。

1. 力点を支点と同じ位置にする。 2. 力点を支点に近づける。 3. 力点を作用点に近づける。 4. 力点を支点から遠ざける。

問5 てこの仕組みを使った道具のうち、力を加える部分（力点）が、支える部分（支点）と仕事をする部分（作用点）の間にある道具を何と呼びますか。

1. 支点が間にある道具 2. 力点が間にある道具 3. 作用点が間にある道具 4. 支点と作用点がない道具

問6 力点と支点の位置を変えずに、作用点を支点に近づけて重いものを持ち上げるとき、手ごたえと必要な力はどうなりますか。

1. 手ごたえが小さくなり、小さな力で持ち上げられる 2. 手ごたえが大きくなり、大きな力が必要になる 3. 手ごたえは変わらないが、大きな力が必要になる 4. 手ごたえが小さくなり、大きな力が必要になる

問7 てこがつり合うとき、左側のおもりの重さと支点からのきよりをかけた値と、右側のおもりの重さと支点からのきよりをかけた値が等しくなるというきまりを何といいますか。

1. てこのかたむきのきまり 2. てこのはたらきのきまり 3. てこのつり合いのきまり 4. てこの重さのきまり

問8 はさみで紙を切るとき、2つの刃^はが交わっていて、はさみ全体を支える位置にあたる部分を何といいますか。

1. 接点 2. 力点 3. 作用点 4. 支点

問9 てこを使って重いものを持ち上げるとき、そのものに力がはたらいている「作用点」では、どのようなことがおこっていますか。

1. てこを支える。 2. 手で力を加える。 3. ものに力がはたらく。 4. てこが回転する。

問10 てこを使って重い物を持ち上げるとき、てこを支える位置のことを何といいますか。

1. 支点 2. 力点 3. 作用点 4. 中心点

問11 理科の実験などで、手で押^おしたり引いたりする「力」を目に見える形で表したいとき、どのようなものにおきかえて表すことができますか。

1. ものの長さ 2. ものの重さ 3. ものの温度 4. ものの体積

問12 てこの仕組みを使って重いものを持ち上げるとき、力を加えるものはどれですか。

1. 地面 2. ささえている点 3. 持ち上げるもの 4. ささえた棒

問13 空きかんつぶし器は、てこの仕組みを利用した道具です。この道具において、支点と力点の間にある部分はどこですか。

1. 作用点 2. 支点 3. 力点 4. 作用点と力点の両方

問14 台ばかりを上から指で押^{おし}したときに、針が100gを示したとします。このとき、指が加えている「100g」という値は、何の大きさを表したのですか。

1. 支点の位置 2. てこの長さ 3. 力の大きさ 4. おもりの体積